

ビーチバレー競技規則(大津市ルール)

1. 設営コート

- ・コートは18m×9mの長方形
- ・コートは、2本のサイドラインと2本のエンドラインによって区画され、センターラインはない。
サイドラインおよびエンドラインはコートの寸法に含まれる。
- ・ラインの幅は5～8cmであること。
- ・ネットは、長さ9.5m、幅1mでコートのセンター上に垂直に強く張られる。
- ・サイドバンドはそれぞれサイドライン上のネットに垂直に取り付けられる。
- ・アンテナは長さ1.8m、直径10mmでネットの一部とみなされる。
- ・ネットの高さは、男子:2.30m、女子:2.10mとする。

2. 参加者

- ・1チームは、4人の選手で構成され、監督1名、補欠4名の9名以内とする。
- ・選手の服装は、ビーチバレーボールにふさわしいものを着用。(ショートパンツ、水着等)
シャツは自由。帽子着用可。
- ・主審の許可のない限り「はだし」で競技しなければならない。
- ・選手は、ナンバーを両腕の見える所に書く。

3. 試合形式

- ・10点×2セットマッチのラリーポイント制。デュースなし。
- ・主審は両チームのキャプテン立合いのもとにトスを行い、トスに勝ったチームのキャプテンがサービス権かコートを選択する。
- ・ウォームアップは、それぞれ最初の試合のみコートでネットを使って両チーム3分間の合同練習をする。
- ・サーバーによってボールが打たれた瞬間、各チームの選手はコート内にいなければならない。(サーバーは除く)
- ・選手はコート内ではどの位置にいてもよい。
- ・サービスは、提出したサービスオーダー順に行う。
- ・サービスは1回だけとする。
- ・サービスをするためにトスをしたボールを打たなかった場合反則とし、相手方に移行する。
- ・サービスのネット・インは相手方にポイント。
- ・タイムアウトは1セット2回以内、1回につき30秒とし、監督又はキャプテンが要求する。
- ・選手交替は4回、4名以内とする。1度交替した選手はそのセットのコートに戻れない。
- ・コートチェンジは、両チームの得点合計が5の倍数になるたびに行う。
- ・1人の選手は、連続して2回ボールをプレーすることはできない。(ブロックは除く)
- ・ブロック以外、2名が同時にボールに触れた場合2回として数える。

4. 反則行為等

<主な反則>

- ・サービスフォールト・・・サービスされたボールが、ネットあるいはアンテナに触れるか相手方競技者に触れずにコートの外側に落ちた時。
- ・フットフォールト・・・サービスの時にラインを踏み越した時。
- ・オーバータイムス・・・ワンタッチを含んで最大限3回を越えた時。
- ・ホールディング・・・ボールをヒットさせずに手の中で停止した時。
- ・ドリブル・・・ブロックを除き、一人が連続して2度ボールに触れた時。
- ・タッチネット・・・インプレー中に、ネットやアンテナに触れた時。
- ・オーバーネット・・・ネットによって分けられた相手コートにあるボールに触れた時。
- ・インターフェア・・・相手方競技者に一方的に接触し、プレーを妨害した時。ボールが相手方にある時。
ネットの反対側から触れた時。

<その他>

- ・サーブブロック及びサーブのアタックは反則とする。
- ・オーバーハンドパスで両肩に対し、直角でない方向にアタック、ヒットした時は反則とする。
- ・フェイントは反則とする。
- ・相手側から「スクリーン」のアピールがあれば位置を移動しなければならない。